



AUTOSAR NEWSLETTER Q3/2025

October 2025
3rd Quarterly Edition



トピック

組織内の最新情報

- 第17回AOC: 開催場所の変更
- 第17回AOC: 講演者募集 (継続中)
- リリースイベント 2025: 参加受付開始!
- All WG 2026: スケジュール確保をお願いします!
- RS文書に関するアンケート調査: 期限延長

AUTOSAR イベント情報

- Previous events 開催済みイベント
- Upcoming events 今後のイベント

新規 AUTOSAR パートナー

コンセプトロードマップ

- コンセプト解説: AP Crypto のリワーク

AUTOSAR Hub ニュース

- Hub China
- Hub Japan
- Hub North America

組織内の最新情報

第17回AOC: 開催場所の変更

第17回AUTOSAR オープンカンファレンス (AOC) は中国上海にて開催いたします(当初の開催予定地である米国デトロイトから変更されました)。

中国は、電気自動車、コネクティビティ、そして SDV (software-defined vehicles) において、急速にグローバルリーダーへと成長を遂げています。中国でAOCを開催することにより、AUTOSARは最も急速に成長しているイノベーションを担うハブを持つこととなり、その影響力を加速させ、迅速かつ高性能なソリューションを提供することが可能になります。



17th AOC Update

New Location: Shanghai, China

The 17th AOC will take place in China in 2026

June 10-11, 2026*

*9th of June potentially an informal get-together (tba)

More Information Coming Soon

www.autosar.org



上海での開催により、参加者は最新の地元業界の知見に直接アクセスできるようになり、主要プレーヤーとの緊密な連携が促進され、地域全体でのイノベーションの推進と AUTOSAR 標準のより迅速な導入が促進されます。

日程、会場、スポンサーシップの機会、議題に関する最新情報については、[LinkedIn ページ](#)と [Web サイト](#)をフォローしてご確認ください。

AUTOSAR コミュニティにとって重要なこのイベントが2026年に上海で開催されることを楽しみにしています。

詳細につきましてはこちら: <https://www.autosar.org/news-events/>

第17回 AOC: 講演者の募集を継続中

以下の2種類の講演枠へのお申し込みをお待ちしています:

- 講演発表 (25分+Q&A 5分)
- 技術的、トレーニング、または実践的なセッション(35分+Q&A 10分)

抄録は、AUTOSAR公式テンプレートを利用し、2025年12月15日までにご提出ください。

AUTOSAR

Call for Papers is Live

Deadline: 15th of December 2025

17th AUTOSAR Open Conference

Shanghai, China
10th - 11th June, 2026*

*9th of June potentially an informal get-together (tba)

www.autosar.org



カンファレンスのモットー

「オープンソース、コミュニティソース、自動車向け商用ソフトウェアの統合：課題と解決策」

ご講演のプレゼンテーション内容は上記モットーに関連するものとしてください。その前提のもとで関心の高いトピックには、例えば以下のようなものがございますが、これらに限りません:

- Common Adaptive Platform Implementation (CAPI)
- AUTOSARと他のソフトウェア技術とのインターフェース
- AUTOSARスタックとプロセスへのAIの適用
- AUTOSARシステムの設定の簡素化 (ツール支援など)
- DevOpsによるAUTOSARのデプロイメント
- SDVアプリケーションの安全とセキュリティ
- AUTOSARを伴うプラットフォーム戦略
- AUTOSARを伴う洗練されたワークフロー

もしも、AUTOSARに関する経験談の共有や、トレーニング・実践的なセッションなどの提供をお考えでしたら、その内容についての抄録を、**2025年12月15日**までに、comm.support@autosar.orgにご提出ください。

リリースイベント 2025: 参加受付開始!

AUTOSAR リリースイベント R25-11 参加申し込みの受付開始をお知らせします。

Cventで開催されるこの無料のオンラインイベントでは、AUTOSARの専門家が、リリースR25-11から選ばれた技術トピックとして、以下の分野に焦点を当てて講演します:

- 車両データプロトコル(Vehicle Data Protocol)
- セキュリティ
- AUTOSAR CP での DDS サポート
- AUTOSAR CP での Rust 言語の利用に関する見通し
- IVC (In-Vehicle Communication) 概要: クリーンアップとデフォルト値



AUTOSAR

Register Now

AUTOSAR Release Event R25-11

4th of December 2025
Virtually on Cvent



www.autosar.org

- AUTOSAR Common Adaptive Platform Implementation (CAPI)

世界中の参加者に対応するため、本イベントでは午前8時（UTC）（日本時間の17:00）と午後3時（UTC）（日本時間の24:00）の2つのセッション（同一内容）として開催します。午前のセッションには日本語と中国語の字幕が、また、両セッションには英語の字幕が提供されます。

ご都合の良いセッションに登録ください。どちらのセッションにご参加いただくかお迷いの場合は、両方に登録いただいても構いません。

日本時間17:00開始のセッションに登録する

日本時間24:00開始のセッションに登録する

All WG 2026: スケジュール確保をお願いします

AUTOSARは、ワーキンググループメンバー全員、プロジェクトリーダーチーム、そして運営委員会メンバーを、2026年3月23日～27日に、ドイツのダルムシュタットにあるグリートホテルで開催予定の全ワーキンググループ会議にご招待いたします。ぜひカレンダーにご記入ください。

詳細は近日中に[AUTOSARウェブサイト](#)で公開予定です。皆様のご参加、そして共にイベントを成功に導くことを楽しみにしております。



RS文書に関するアンケート調査: 期限延長

AUTOSARは、ワーキンググループ議長、システムアーキテクチャチーム、そして標準化活動にご参加の皆様、要件仕様書（AUTOSAR RS文書）が実際にどのように使用されているかを把握するための5分間の簡単なアンケートへのご協力をお願いしています。皆様からのご意見は、RS文書の将来を形作る上で不可欠であり、RS文書が常に関連性と明確性を保ち、実際の開発ワークフローに沿ったものとなるよう努めてまいります。

この調査では、自動車エコシステムにおける皆様の役割と組織、現在のRS文書に関する経験談、それらの明瞭性、使いやすさ、適用性に関するフィードバックについてお尋ねします。

2025年10月15日までに、[こちら](#)のアンケートにご回答ください。ご回答は匿名で行われ、個人情報は一切収集されません。ご質問等ございましたら、reqm@autosar.orgまでお問い合わせください。

AUTOSAR Hub News

AUTOSAR China Hub

AUTOSAR チャット E2、E3：第16回AOCに中国の専門家が集結、PLの視点から見たAUTOSAR技術

「AUTOSARチャット」は、AUTOSAR関連のトピックに焦点を当てています。ここでは、専門家が業界のトレンドについて深く議論し、技術的な課題を分析し、独自の洞察を共有します。AUTOSARを実践する方々とAUTOSARを支援する方々の間の架け橋となり、最新情報と深い考察を提供することで、AUTOSARの開発動向を理解するための優れた窓口となります。

E2: 第16回AOCに中国の専門家が集結

第16回AOC（AUTOSAR Open Conference）が5月27日～28日、ベルギーのブルージュで開催されました。世界中から業界の専門家やAUTOSARを支援する方々がブルージュに集結しました。特筆すべきは、このカンファレンスにおける中国からの参加企業数と参加者数が、中国国外で開催されたオープンカンファレンス史上、過去最高を記録したことです。OEM、ソフトウェア、ハードウェアサプライヤーなど、様々な分野の中国の専門家がブルージュに集結し、AUTOSARの国際展開に中国の力強い貢献を果たしました。



AUTOSAR中国代表のJing Zhe氏、i-SOFT副ゼネラルマネージャーのZhang Xiaoxian氏、Neusoft ReachのNeuSAR製品営業部長のMao Haiyan氏、そしてKOTEIのチーフエコシステムオフィサーのLv Nan氏が、ベルギーで開催されたAOCへの参加体験を共有しました。カンファレンス参加の目的から今後の展望まで、この業界イベントがもたらす価値と洞察を包括的に提示しました。[こちらのリンク](#)からビデオをご覧ください。

E3: PLの視点から見たAUTOSAR技術

「AUTOSAR チャット E3」には、AUTOSAR 中国代表の Jing Zhe 氏、AUTOSAR プロジェクトリーダー(PL) (Bosch 代表) の Martin Lunt 氏、Wang Pinglei 氏 (Mercedes-Benz 代表) の3名のゲストが招待されました。

オープンソース、地域連携、国際化、インターフェース標準化、AOCといったトピックについて、AUTOSAR PLの観点から詳細な意見交換が行われ、AUTOSARのグローバル展開の全体像が示されました。[こちらのリンク](#)からビデオをご覧ください。

武漢でのQ2 UG-CN会議

第2四半期のAUTOSAR UG-CN（User Group China）およびWG交流会議が、6月26日に武漢のKOTEIインテリジェントコネクテッドビークルソフトウェア産業パークで成功裏に開催されました。専門家が集まり、AUTOSAR組織の発展、標準アプリケーションの実践、標準の進化について意見交換を行い、自動車ソフトウェアアーキテクチャ開発の新しい道を共同で模索しました。

AUTOSAR中国代表のJing Zhe氏とKOTEI CEOのWang Junde氏が歓迎の挨拶を行い、会議が始まりました。

Jing Zhe氏は「AUTOSAR IP入門」と題した講演を行いました。「AUTOSARパートナーの種類」、「AUTOSAR IPライセンスの概要」、「AUTOSARパートナーになるメリット」という3つの側面から、AUTOSAR IPの正しい活用方法を解説しました。続いて、AUTOSAR China HubのWang Lu氏（Echo）が「AUTOSARグローバルニュースとイベント」と題した講演を行い、AUTOSAR組織の発展とイベントの実施状況について参加者に説明しました。



KOTEIの技術専門家である Liu Huan氏は、参加者に「AR-Explorer ナレッジグラフ・インテリジェントQ&Aツール」について詳しく説明しました。「AR-Explorer」は、ナレッジグラフと拡張インタラクティブなインテリジェントQ&A手法を通じてシステムドキュメントコンテンツの関係性を構築することで、ユーザーに全く新しいよりインテリジェントで効率的なドキュメントアクセス体験を提供します。続いて、東風汽車研究開発総局の主任エンジニアである Fan Yun氏は、東風汽車における「マルチコア・ヘテロジニアス・ドメインコントローラーの統合開発」について、実践的な観点から説明しました。



コーヒーブレイクの後、WG Bridge ChinaのスピーカーであるWang Rongsheng氏が「AUTOSAR WG Bridge Chinaの紹介」について講演し、交流会は「新標準コンセプトに関する議論」セッションへと移行しました。AUTOSAR WG Bridge ChinaのメンターであるZhang Zhengyang氏は、中国のパートナー企業のニーズから生まれた3つの新しいコンセプトに焦点を当てました。Zhang氏は3つの新しい標準コンセプト提案の詳細を紹介し、その後、参加者による議論が行われました。



2025年上海自動車ソフトウェア・セキュリティ技術週間 (ATC Tech Week)

ATC Tech Week 2025が7月17日～18日に上海で開催されました。AUTOSAR組織を代表して、AUTOSAR中国ハブの専門家であるFeng Zhanjun氏が同イベントに出席し、「AUTOSAR規格は中国の自動車ソフトウェアの健全な発展を促進する」と題した講演を行いました。Feng氏は、中国のソフトウェア開発におけるSDVの文脈においてAUTOSARが果たすかけがえのない役割について、参加者と意見交換を行いました。



2025 上海CCF中国OSCフォーラム

8月3日、上海で開催されたCCFカンファレンスにおいて、AUTOSAR中国ハブの専門家であり、上海汽車集団（SAIC）代表でもあるZhang Yifeng氏が「AUTOSAR：オープン性からオープンソースへ」と題した講演を行い、AUTOSARがオープンソース分野に進出する上での重要な取り組みについて詳述しました。自動車業界とソフトウェア業界のリーディングカンパニーで構成されるグローバル開発パートナーシップであるAUTOSARは、常に「標準化されたソフトウェアアーキテクチャとオープンなE/Eシステムアーキテクチャの開発を通じて、インテリジェントモビリティの発展を推進する」ことを使命としてきました。今日、「オープンソース」は、業界の課題に対処し、技術革新を加速するための新たな戦略となっています。



2025年インテリジェント・ビークル基盤ソフトウェア・エコシステム会議および第4回中国車載チップ会議（開催地：重慶市）

OpenAtom「パークツアー」重慶ステーションが、8月29日に重慶市の渝州ホテルで成功裏に開催されました。車載向けオープンソースの重要な関係者として、AUTOSAR China代表のJing Zhe氏が主催者の招待を受けて会議に出席し、スピーチを行いました。



Jing Zhe氏は、AUTOSARの現状、中国における標準化の進展、そしてAUTOSARに基づくオープンソースソフトウェアの業界での探求と実践など、重要なトピックについて参加者と深い意見交換を行いました。本会議を通じて、業界にとって効率的なコミュニケーション・プラットフォームが構築されただけでなく、CAAMとAUTOSARの間の相互信頼と協力関係も効果的に深まり、今後のより一層の連携に向けた強固な基盤が築かれました。

オープンソースソフトウェア開発における共通認識：ビジネスモデルがカギ

会議では、自動車業界におけるオープンソースプロジェクトの実践事例に関して、参加者の間で熱心な議論が展開されました。業界のオープンソースソフトウェアプロジェクトには、「二極化」した傾向があることが広く認識されています。技術力や協業モデルによって成功を収めたケースがある一方、立ち位置の不明確さや運営体制の弱さから進展が妨げられている失敗例も見受けられます。議論の結果、関係者全員が、オープンソースソフトウェアプロジェクトが大規模かつ持続的に運営されるかどうかは、ビジネスモデルが鍵となるという共通認識に至りました。

技術的基盤の確認：AUTOSARは信頼の置ける土台

基盤となる技術的支援の面において、AUTOSARの産業的価値は参加者から広く認められており、「信頼できる土台」としての位置付けが確認されるとともに、AUTOSARが開発プロセスにもたらす多くの具体的な利点が特に強調されました。例えば、標準化されたインターフェース設計により異なるメーカーのデバイス間での適応の難しさが大幅に軽減される一方、モジュラーアーキテクチャは開発効率とコードの再利用性を高め、プロジェクトの開発サイクルを効果的に短縮し、研究開発コストの抑制にも寄与しています。

また、参加者は「AUTOSARはオープンソースの協力と高い互換性を持つ」という共通認識に至りました。AUTOSARの技術フレームワークはオープンソースモデルを制約するものではなく、むしろオープンソースプロジェクトに対して標準的な開発基準と安定した基盤の支援を提供すると評価されています。

さらに、参加者はCAPI（Common Adaptive Platform Implementation）、つまりAUTOSAR AP（Adaptive Platform）のオープンソースイニシアチブにも強い関心を示しました。参加者は、このプロジェクトがAUTOSARの互換性と拡張性をさらに高め、APプラットフォームの競争力を強化するとともに、異なる開発チーム間でのAUTOSARに基づくオープンソース協業をより円滑にする技術的な橋渡し役を果たし、技術的障壁の解消やリソース共有の促進に寄与すると認識しました。

AUTOSAR China HubのQ&Aを公開

「AUTOSAR China Hub Q&A」がWeChat上で正式に公開されました。[このドキュメント](#)を通じて、AUTOSARに関心のある方は、China Hubに関する情報を簡単に確認することができます。

中国発の新たなコンセプト

9か月にわたる準備期間を経て、WG Bridge Chinaが主導し、中国の専門家による議論を通じて策定された3つの新たなコンセプトが、AUTOSAR QAに正式に提出されました。これは、AUTOSARにおける中国の専門家が国際標準の策定に参加する上での最新の進展であり、前向きな第一歩となりました。

今後、AUTOSAR China HubおよびWG Bridge Chinaは、中国のパートナーに対して引き続きガイダンスやサービスを提供し、より多くの企業がAUTOSAR国際標準の策定に貢献できるよう支援していきます。

AUTOSAR Japan Hub

AUTOSAR & JASPAR Japan Day 2025

JASPARとAUTOSAR Japan Hubは、2025年7月14日、東京・名古屋およびオンラインにて、AUTOSAR、COVESA、SOAFEE、ASAM、Eclipse SDV、EU Federateによるプレゼンテーション（第16回AOC（AUTOSAR Open Conference）からの抜粋）からなるカンファレンスを開催しました。

約230名が参加し、SDV（Software-Defined Vehicle）関連のトピックに対する高い関心が示されました。本イベントは、CAPIやUG-ETといった新たな活動への参加意欲をさらに高めることが期待されています。

日本地域からの貢献・参加にご興味をお持ちの方は、hub.jp@autosar.org または t-sakurai@esol.co.jp までご連絡ください。

で開催されたSDV Forum XでのAUTOSARによる発表

2025年9月17日～19日に幕張メッセで開催された「[オートモティブワールド](#)」内の「[SDV Forum X](#)」カンファレンスに、昨年に続き再び招待されスピーチを行いました。

1日目に、AUTOSAR Regional Spokesperson Japanである後藤正博氏が、SDVに向けたソフトウェア基盤の加速に関するAUTOSARの方向性とソリューションについて発表しました。



2日目には、AUTOSAR Japan Hubの櫻井剛氏が、Software-Defined Vehicle（SDV）の基盤としてのAUTOSARの概要と最新動向について発表しました。

日本地域における活動の呼びかけ

現在、日本の特有のニーズを反映した教育・トレーニングに関する地域ミーティングの開催準備を進めています。

ご興味のある方は、hub.jp@autosar.org または t-sakurai@esol.co.jp までご連絡ください。

AUTOSAR North America Hub

AutoTech 2025におけるAUTOSARの取り組みの振り返り

North America Hub代表のSteve Crumb氏は、6月に開催されたAutoTech 2025でAUTOSARについて発表し、その後関心を示した6団体にフォローアップを行いました。これにより、新たな北米拠点のパートナー獲得に向けた道が開かれました。ハブはこれらの新たな地域パートナーを近く活動に迎え入れることを楽しみにしています。

北米AUTOSARユーザーグループ 第3四半期ミーティング

北米AUTOSARユーザーグループ第3四半期ミーティングが9月18日にミシガン州トロイのSAEインターナショナル本部で開催され、20名以上のAUTOSARパートナー組織の参加者を迎えました。

ユーザーグループのプログラムは、AUTOSARパートナー各社の代表者による3件の講演で構成されました：



- “Communication Accelerator for Gateway Applications” (「ゲートウェイアプリケーション向け通信アクセレーター」) Todd Stachowiak氏およびRob Bitel氏、Elektrobit社による講演
- “Deploying AUTOSAR Classic SW: Expectations, Reality, and Solutions” (「AUTOSAR Classic SWの展開：期待と現実性、および解決策」) Zsolt Nagy氏、GLIWA社による講演
- “Heterogeneous SDV Communication Architectures with AUTOSAR and DDS” (「AUTOSARおよびDDSを活用した異種SDV通信アーキテクチャ」)、Ron Oliver氏、RTI社による講演

次のユーザーグループミーティングは、12月4日に開催される年次[リリースイベント](#)となります。

パートナーとの個別面談

第3四半期に、North America Hubは北米のAUTOSARパートナー数社と一対一の面談を実施しました。Steering Committeeの年次KPIに基づき、Steve Crumb氏が以下の3つの主要トピックについて各社から意見を収集しました。

1. パートナーによるAUTOSAR技術の活用方法
2. パートナーが、変更要求や新しいコンセプトドキュメントに適した技術的な提案を持っているかどうか
3. パートナーがNorth America Hub主催の四半期ユーザーグループミーティングへの参加を希望しているかどうか

これらの面談は年内を通して継続される予定であり、すでに北米ユーザーグループミーティングへの新たな関心を含む、興味深い成果が得られています。数社のパートナーは、AUTOSARの技術的イニシアチブに貢献する意向を示しており、最近AUTOSARから発表されたCommon Adaptive Platform Implementation (CAPI) に関連する、テストプランの改訂からコードの作成に至るまで、幅広い取り組みが予定されています。

北米のパートナーの中には、主にヨーロッパで進められているAUTOSARの主流な活動から距離を感じている人もいます。しかし、そうしたパートナーの多くは、自分たちが果たすべき重要な貢献があることを認識しており、時間の経過とともに、AUTOSARもそれらの貢献から恩恵を受けることが期待されています。

AUTOSARのイベント

過去に実施されたイベント

2025年7月14日 AUTOSAR & JASPAR Japan Day (東京、名古屋、オンライン)

2025年7月3日～5日 AUTOSAR at AutoTech 2025 (米国ミシガン州ノバイ)

今後のイベント

AUTOSARの最新イベント情報については、随時[ウェブサイト](#)でご案内しております。ぜひご確認ください。

パートナー

2025年第3四半期の新たなAUTOSARパートナー



SANDEN

Sanden
(Associate Partner)



Technische Hochschule Deggen Dorf
(Attendee)

コンセプトロードマップ

AUTOSARのウェブサイトにて、コンセプトロードマップが公開されています。最新情報は、下のボタンをクリックしてご確認ください。

[コンセプトロードマップを見る](#)

コンセプト731 - AP Crypto Rework（コンセプトグループメンバー：Vector、BMW、Denso）

このコンセプトは、R19-03で導入された現行のAP ara::crypto仕様を見直し、一貫性のある状態を保ちながら、使いやすさと機能の明確化を図ることを目的としています。主な改善点は以下の通りです。

- スタック内部インターフェースを廃止し、基本的なユーザー向けインターフェースの定義に注力する
- 不要な抽象化や機能を排除してara::cryptoを簡素化し、代わりに以下のようなユースケースに注力する
 - アプリケーションレベルのユースケース
 - 車両内および車両外との安全な通信 (例としてSecOC、TLS、IPsec)
 - 診断通信およびアクセス制御 (例: 0x27、0x29)
 - セキュアなソフトウェア更新
 - セキュアな機能の有効化
 - セキュアなストレージ (例: セキュアブート、ara::per protection) スマートチャージ (ISO 15118)
 - ECU 識別管理および鍵管理
- 鍵管理、暗号変換、証明書運用に関連するara::cryptoレベルのユースケース。

AUTOSAR

Thomas Rüping (Chairperson)
Niederfeldstrasse 18
85413 Hörkertshausen, Germany

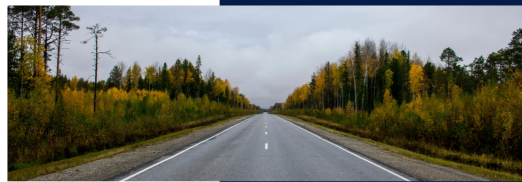
Tax No.: 115/151/50015
Ust Id No.: DE231164643

+49 87 64 78 93 99 40
admin@autosar.org
www.autosar.org



Core Partners

Bayerische Motoren Werke AG, München; Robert Bosch GmbH, Gerlingen-Schillerhöhe;
Continental AG, Hannover; Ford Motor Company, Dearborn; General Motors Holdings LLC,
Detroit; Mercedes-Benz Group AG, Stuttgart; Stellantis N.V., LS Hoofddorp; Toyota Motor
Corporation, Aichi; Volkswagen AG, Wolfsburg



This newsletter was sent to {{ contact.EMAIL }}.
© 2025 AUTOSAR